

<学生時代に身に付けておくべき事 第20弾>

日本学生卓球連盟 副会長 鈴木一雄

新型コロナウイルス感染状況が相変わらず収束の気配が見えません！
世界各国で有効な薬やワクチン開発等進んでいますが完全な物が出来るのは
何時になるかまだまだ不透明です。それでも日々時間は進んで行き、社会生
活環境は色んな所で変化しその対応の進捗状況に戸惑いと不安を感じるのは
私だけでしょうか？学生諸君はいかがですか？

さて、いずれ大学生活から社会人生活へ環境が変わる学生諸君にとって
働く職場（会社）の役職がいかんにして決まるか？など「人事」について
少なからず興味があると思います。

そこで今回<功と徳の人事>をテーマにしましたので考えて見て下さい。

まず三国志で有名な「軍師 諸葛孔明」がそのテーマについて述べています！

国家の人事として、いかに手柄や功労があってもそれだけで
高い地位や官職を与えてはならない
地位や官職は、それ相応した能力のある人材に与えるものである！
つまり手柄や功労があった人達をないがしろにする訳でなく
その人達には「金銭」で報いてやれば良い

現代的に言えば

会社の人事の基本は、功績のある人には報酬（給与・ボーナス等）で報い
徳のある人には、地位を与える つまり
能力ある人材を高く評価する一方 功績のあった人も切り捨てないで
情を持って報いる事である

日本でも「幕末の志士 西郷隆盛」 いわく

「徳高き者には、高き地位を功績多き者には報酬を」と述べています。

現況、コロナ社会のもとでは「3密」を避ける事を基準に、これ迄の社会生
活・企業活動が変わりました、今後「ウィズコロナ」として日本型「人事」
を考えて見るとこれ迄の年功序列から成果型評価へ移行する方向です。
ただ人間関係の本質は、本能的なもので変わらないと確信します！
改めて「人間力（徳）を高めて行く」その努力を怠らない様にしてもらいた
いものです！